

 ユシロ化学工業株式会社

第91期

中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

The Way Of Mutual Progress



証券コード:5013

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

The Way Of Mutual Progress

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念 共々の道

社 是

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

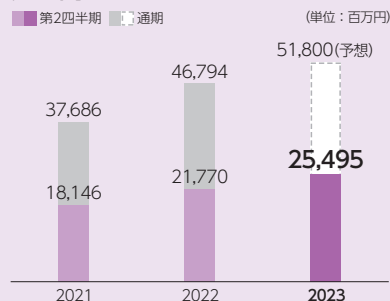
さて、当社第91期第2四半期(中間期)の事業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長
有坂 昌規

連結財務ハイライト

売上高



営業利益



経常利益



事業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化などの地政学リスクの高まり、欧米におけるインフレの長期化や金融引き締め政策の継続、中国景気の減速等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。また日本経済においても、コロナ禍からの経済活動の正常化が進んでいますが、円安の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高止まりなど、引き続き景気の先行きを注視していく必要があります。

このような状況下、当社においては、中期経営計画『RECOVER PLUS』の最終年度として、収益性の改善を第一に各種施策に取り組んでおります。依然として原材料価格は高い水準にありますが、主要顧客である自動車業界において、メーカーによって多少差はあるものの半導体等の部材不足の緩和に伴い減産の影響は徐々に縮小しており、回復基調が継続しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比17.1%増の25,495百万円、営業利益は前年同期比384.1%増の1,771百万円、経常利益は前年同期比298.3%増の2,401百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,700百万円増の1,805百万円となりました。

利益配分に関する基本方針 及び当期の配当

企業価値向上と持続的な成長に繋がる投資を優先的に実行することが結果としてステークホルダー共通の利益に資する考えに加え、株主に対する利益還元についても経営の重要施策とし、安定的・持続的に配当を行うことを方針とし配当性向を30%以上とします。

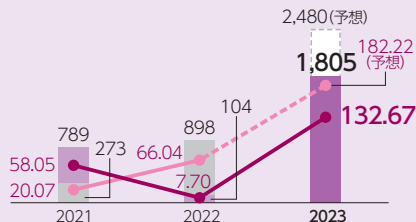
中間配当金につきましては、2024年3月期第2四半期業績を踏まえ、20円とすることを決議いたしました。期末配当金につきましては35円とし、1株当たりの年間配当金は、中間配当金と合わせて55円となる予定であります。

▶▶ 2024年3月期連結業績予想

	当期予想	前年実績
売上高	51,800百万円	46,794百万円
営業利益	2,890百万円	1,049百万円
経常利益	3,680百万円	1,442百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,480百万円	898百万円
1株当たり当期純利益	182.22円	66.04円
年間配当金	55円	20円

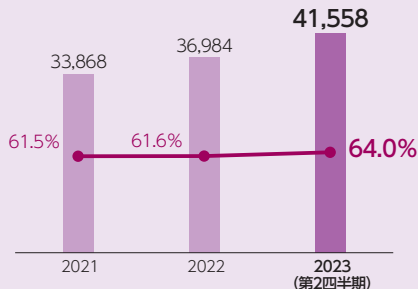
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益/ 1株当たり四半期(当期)純利益

(単位：百万円/円)
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 ■ 第2四半期 ■ 通期
1株当たり四半期(当期)純利益 ● 第2四半期 ● 通期



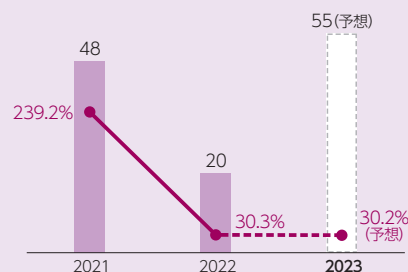
純資産/自己資本比率

(単位：百万円)
■ 純資産 ● 自己資本比率



1株当たり年間配当額/配当性向

(単位：円)
■ 1株当たり年間配当額 ● 配当性向



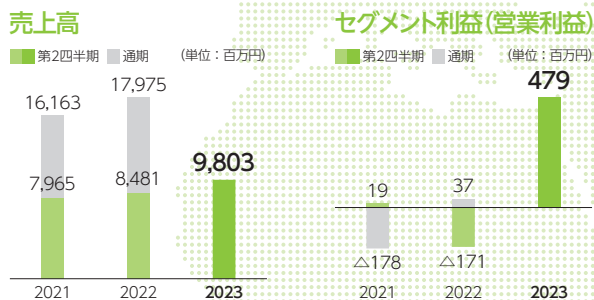
セグメント情報 (2023年4月1日から2023年9月30日まで)

セグメント ハイライト

中国セグメントにおいては前年同期と比較して減収・減益となりましたが、日本、南北アメ



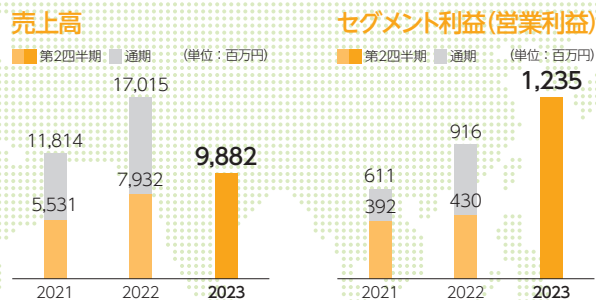
半導体不足による自動車メーカーの減産の影響からの販売数量の本格的回復には至っていませんが、販売価格の改定の影響もあり増収となり、前年同期の営業赤字から大きく回復し営業黒字に転じました。



- 連結子会社
- ユシロ運送株式会社
 - ユシロ・ゼネラルサービス株式会社



北米を中心に事業環境は良好であり、前期において顧客の稼働率低下の影響を受けていた拠点においても急速に回復が進んだことから、大幅な増収・増益となりました。



- 連結子会社
- ユシロマニュファクチャリングアメリカInc. [米国]
 - クオリケム Inc. [米国]
 - ユシロドブラジルインダストリアケミカLtda. [ブラジル]
 - ユシロメキシコS.A. de C.V. [メキシコ]

持分法適用関連会社 …………… 汎宇化学工業株式会社(韓国) 株式会社汎宇(韓国) 三宜油化股份有限公司(台湾)

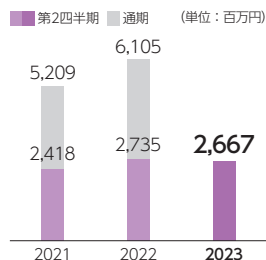
リカ、東南アジア／インドセグメントにおいては、販売価格の改定の影響もあり増収・増益となりました。

中国

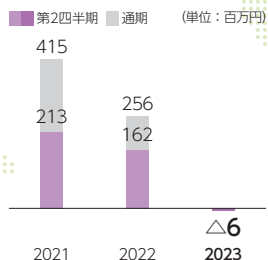


景気減速の中、日系自動車メーカーの稼働率低迷により販売数量は伸びず減収となり、競争の激化による価格改定の困難性もあって、わずかではありますが営業赤字となりました。

売上高



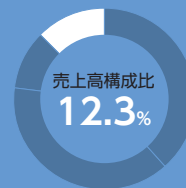
セグメント利益(営業利益)



連結子会社

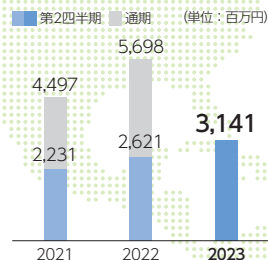
- 上海尤希路化学工業有限公司[中国]
- 如東尤希路化学工業有限公司[中国]

東南アジア／インド

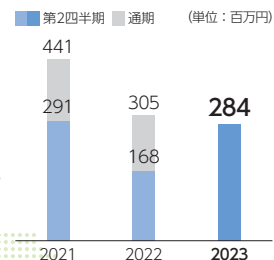


各拠点において顧客の稼働率は堅調に推移しており、一部の拠点において前期に実施できなかった顧客の販売価格の改定も進んだ結果、増収・増益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

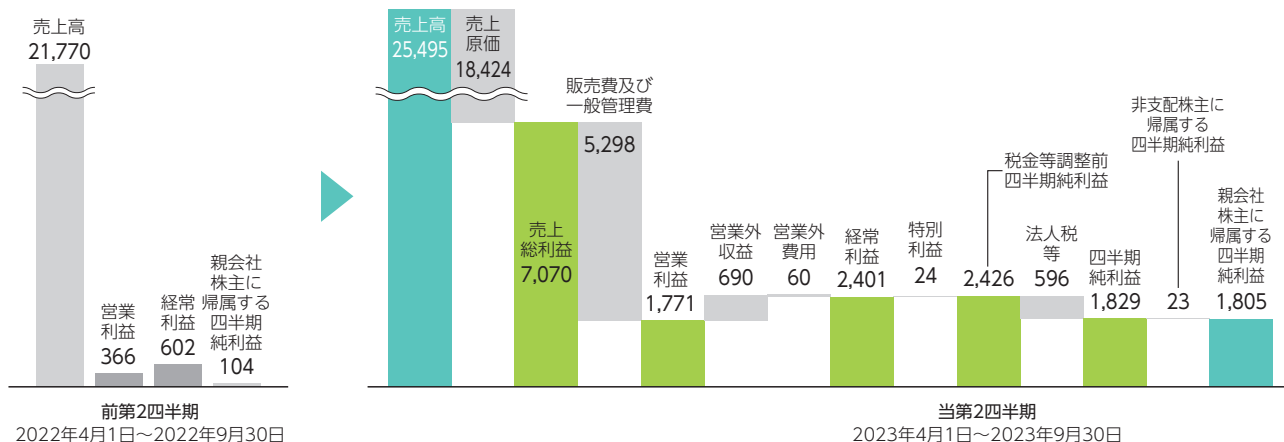
- ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
- ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
- サイアムシー・ビー・ケミカル Co.,Ltd.[タイ]
- ユシロインドカンパニーPvt.Ltd.[インド]
- PT. ユシロインドネシア[インドネシア]

連結財務諸表

※金額は、百万円未満を切捨表示しております。

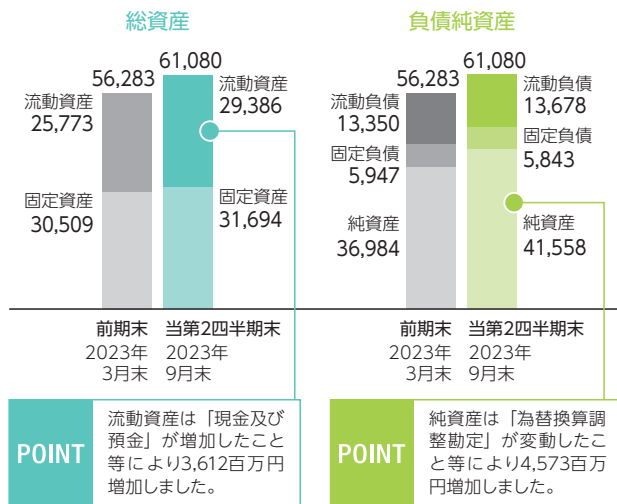
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



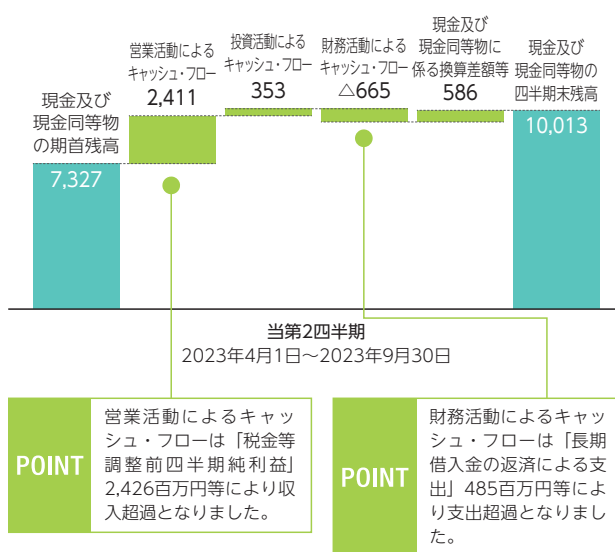
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



会社概要・株式の状況 (2023年9月30日現在)

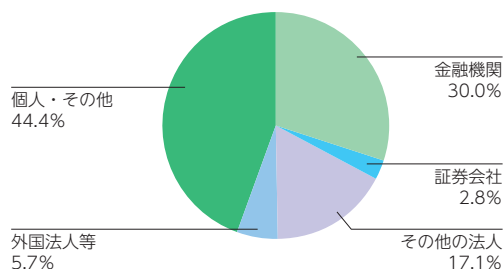
■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX (03) 3750-1146
ホームページ	https://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	380名(連結972名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、水処理剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

■ 株式の状況

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	5,777名

所有者別株式分布状況



■ 役員

代表取締役社長	有坂 昌規
常務取締役	高橋 誠司
取締役	小林 一重
取締役	高倉 一利
取締役	石川 拓哉
取締役*	中野 雅文
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	杉山 敦子(現姓 松本)
取締役(監査等委員)	山崎 敏男

*は社外取締役です。

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,240	9.11
日本生命保険相互会社	1,057	7.76
ユシロ化学工業取引先持株会	957	7.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	645	4.74
スズキ株式会社	549	4.03
株式会社三井住友銀行	518	3.81
ユシロ化学工業従業員持株会	491	3.61
株式会社三菱UFJ銀行	316	2.32
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.10
長瀬産業株式会社	243	1.79

*当社は、自己株式290千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ(https://www.yushiro.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

○住所変更、単元未満株式の買取り等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社が住所変更等のお申出先となります。

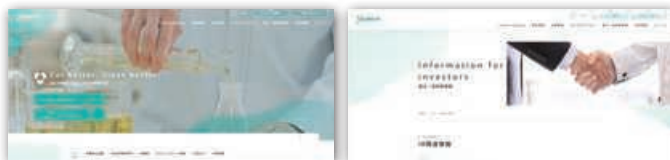
本件に関するお問い合わせ先は、左記株主名簿管理人となります。

○未払い配当金の支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、当社の事業をよりご理解いただけるよう、事業内容に加え、技術情報、IRなど、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。



ユシロ化学工業

検索

<https://www.yushiro.co.jp/>



株主総会資料電子提供制度に関するご案内

改正会社法により、株主総会資料の電子提供制度が創設され、株主様が、一定事項を記載した株主総会資料を書面で受領することを希望する場合は、株主総会の基準日までに、口座を開設している証券会社又は株主名簿管理人を通じて書面交付請求の手続を実施いただくことになりました。当社では、2023年6月以降に開催の定時株主総会から電子提供制度が適用されておりますが、2024年6月開催予定の定時株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、議決権を有する株主様に、同一の株主総会資料を送付する予定です。



UD FONT